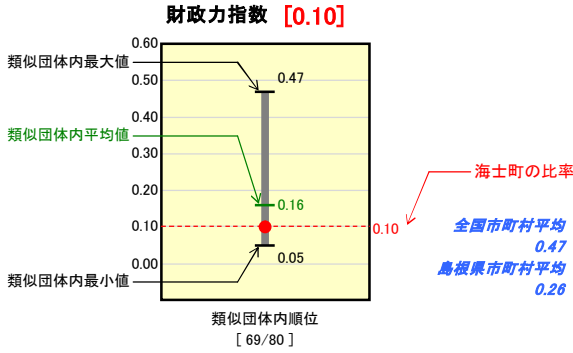


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

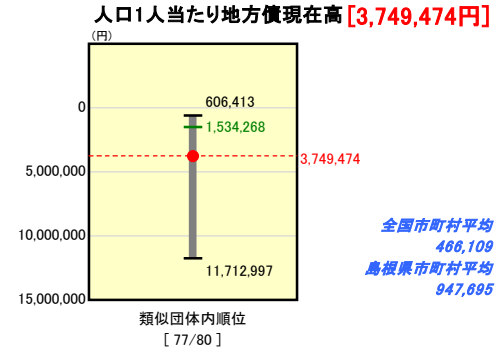
## 島根県 海士町

人口	2,496人(H17.3.31現在)
面積	33.50 km <sup>2</sup>
歳入総額	4,778,763千円
歳出総額	4,724,201千円
実質収支	53,783千円

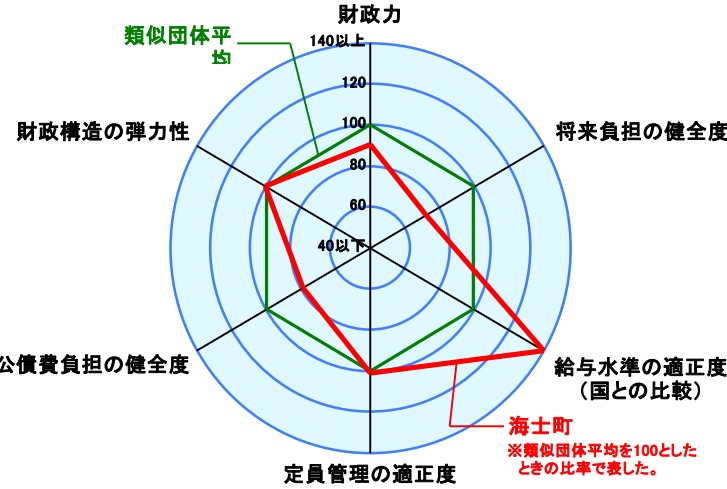
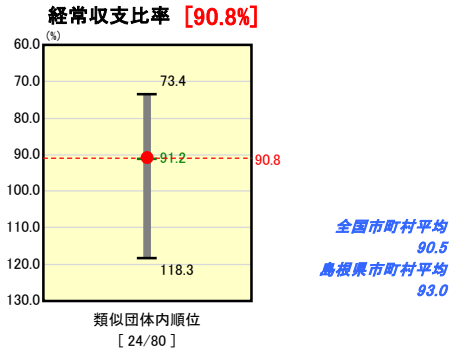
### 財政力



### 将来負担の健全度

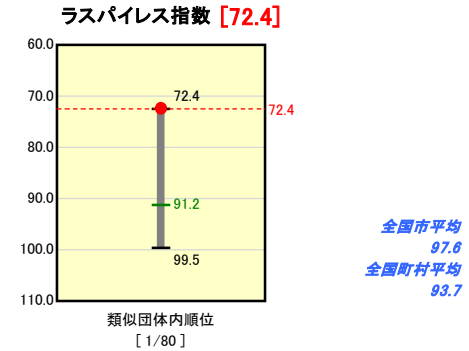


### 財政構造の弾力性

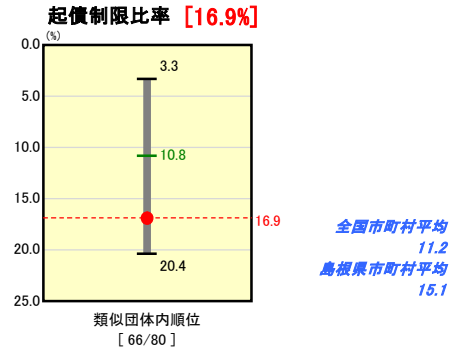


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

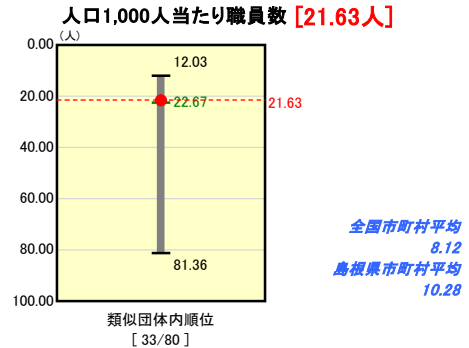
### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



### 分析欄

**【財政力指数】**  
人口減少や少子高齢化、離島という地理的条件により地方税の収入能力が極めて低く、地方交付税に依存する度合いが高いため、類似団体平均を下回っている。

**【経常収支比率】**  
平成11年度からの退職者不補充や平成16年度から実施している職員の給与カットによる人件費の削減、維持補修費、補助費、委託料や需用費等の物件費を廃止・縮減し、経常経費削減を図ったこと等、また公債費比率が大きいため、繰上償還と建設事業の見直しを行ったことにより、やや類似団体平均を下回っている。

**【起債制限比率】**  
離島であるが故に漁業基盤整備事業、観光施設整備事業、総合福祉センター建設事業や廃棄物処理施設事業等の遅れていた基盤整備を進めた結果、暮らしや安全・安心等の面で改善が図られた一方で、その財源の一つである地方債の累積が大きく膨らみ、財政運営上大きな重荷となつてのしかかってきた。主な地方債は一般公共事業債、辺地、過疎対策事業債等であり、手厚い交付税措置はあるものの発行額があまりにも多額であるため、類似団体の水準を大幅に上回っている。今後はタイミングを計りながら繰上償還を行い、起債制限比率の抑制に努める。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
離島であるが故に住民の生活を守るため、漁港・港湾の整備を含む過去からの大型プロジェクトの地方債発行額が多額であったため、類似団体の水準を大きく上回っている。

**【ラスパイレス指数】**  
平成16年4月から職員の給与カット管理職員20%、一般職員については9月まで5%、10月以降10~20%を実施。平成17年4月からは、管理職員20~30%、一般職員16~30%の実施により、ラスパイレス指数は全国でも最低となっている。今後も勤務評価制度導入や勤奨手当に成績率の導入など給与、諸手当の適正化に努める。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
過去からの退職不補充策により類似団体平均を下回っている。今後は、集中改革プランのとおり、平成22年4月1日までに4名削減(△5.9%)とし、職員数を69名とする。現在普通会計の職員数は、町民43人に1人の割合であり、計画期間中に町民50人に1人を目指す。